様式1-1

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

記入日　平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業の現状（DO）

事務事業名	No. 660103	友好都市教育親善大使受入事業	主管課名	学校教育課
この事務事業の位置	政策	魅力ある活力とにぎわいのまち		
	施策	多様な文化に親しみ、ふれあえるまち	課長名	水野　克弘
	基本事業	国際交流活動の充実		

(1)事業の概要

友好都市コロンバス市からの教育親善大使訪問時の行動計画を作成し実施する。
小中学校における教育親善大使との友好交流及び国際交流をより深めるため、小中学校国際交流委員会に事業を委託する。

(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標)　･･･数値は(9)

	名　称	単位
①	大使数	人
②	滞在日数	日
③		

その指標

(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)	例年①現地担当者(Friends of Miyoshi)に大使を選出してもらう。 ②大使の渡航の手配を行う。 ③大使の訪問日程を作成。必要に応じて通訳者を依頼する。
26年度計画	■前年と同様 □変更あり → 変更内容

(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)

コロンバス市からの代表団、教育親善大使、高校生等
市内小中学生

(6)対象指標(対象の大きさを表す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	大使訪問校数	校
②	児童生徒数	人
③		

(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)

みよし市のことを理解する
コロンバス市のことを理解し、国際交流などに興味をもつ

(7)成果指標(意図の達成度を示す指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	訪問時間数/訪問予定時間数	%
②	パートナー校との交流を行った学校数/市内小中学校数	%
③		

(4)結果(上位基本事業の意図)

自主的な交流活動をしてもらう

(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標)　･･･数値は(9)

その指標

	名　称	単位
①	国際交流の推進が重要だと思う人の割合	%
②		
③		

(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標

指標 ＼ 年度		単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
(5)の活動指標	①	人	1	1	1	1	1	1
	②	日	10	10	10	10	10	10
	③							
(6)の対象指標	①	校	6	12	12	12	12	12
	②	人	6,823	6,722	6,565	6,620	6,585	6,458
	③							
(7)の成果指標	①	%	100	100	100	100	100	100
	②	%	100	100	100	100	100	100
	③							
(8)の結果の成果指標	①	%	62	62	62	62	62	62
	②							
	③							

(10)予算費目

会計	01 一般会計	款	10	項	01	目	02

(11)コスト

(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値
事業費 (決算又は予算額)		単位	210	227	240	240	240	240
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	210	227	240	240	240	240
人件費B		千円	566	557	557	557	557	557
	正職員従事時間×人数	時間×人	75 × 2	75 × 2	75 × 2	75 × 2	75 × 2	75 × 2
	正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0	0	0
その他費用C		千円	140	81	100	100	100	100
トータルコストA+B+C		千円	916	865	897	897	897	897
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)	①	千円/　校	153	72	75	75	75	75
	②	千円/　人	0	0	0	0	0	0
	③	千円/						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	660103	友好都市教育親善大使受入事業

(1)この事務事業はいつから開始したのか？	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
平成９年度　から	特になし
(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 平成８年１０月に友好都市コロンバス市及び市地域教育事務所との教育提携を契機に、コロンバス市地域学校との学校間交流を促進させることを目的として開始。	
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ □変化していない ■変化している → 変化した内容：コロンバス市との交流（学校間交流）が恒例となってきている。	

3 評価（SEE）					
目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	□法定受託事務 ■自治事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
			根拠法令	なし	
			この事務を行う根拠又は理由	友好都市コロンバス市地域学校との学校間交流のきっかけづくりは市及び教育委員会の役割である	
	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	■結びつく □結びつかない	理由		
	(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	□できる → □拡大 / □縮小 ■できない	内容		
	(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み）はできませんか？	□できる → □追加 / □拡充 / □絞込み ■できない	内容		
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	□影響が大きい ■多少影響がある □影響はない	理由又は内容	教育親善大使は、教育提携に基づき受入している。廃止した場合、学習の一部として小中学生が異文化に触れる機会が失われる。	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ ※1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	□できる ■できない	理由又は内容	コロンバス市の認知度は上がっている。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	■ある → ■庁内事業 / □庁外事業 □ない	類似事業名	友好都市中学生派遣事業	
			類似事業との再編の可能性	□ある → 内容 ■ない	
効率性	(8)現在の成果水準のままで事業費を削減する方法はありませんか?(仕様や工法の変更、住民の協力など)	□ある ■ない	内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	□ある ■ない	内容		
公平性	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	□ある / ■ない → ■現状で適正 / □検討が必要 □受益者がいない	内容		

4 改革改善案（PLAN）							
	(1)今後の事業の方向性	□拡大	□改善	■現状維持	□縮小	□統合	□廃止・休止
		コストの方向性	→ 維持	事業費の方向性	→ 維持	成果の方向性	→ 維持
	(2)改革・改善案 ※対象、意図、手段等の見直しなど						